



開一研究通信

令和7年7月14日
開進第一小学校
校長 海老沼 寛之
研究推進部

No. 3

研究主題

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり

第1回研究授業

体育科 器械運動 「マット運動」 6年1組

高学年のマット運動は、技の種類も多く、基本的な技ができないと、他の技にも取り組めません。そこで、今回個別最適な学習の視点から授業づくりをしました。

授業

手だて①「学習の個性化」

自己の能力・課題を知り、できるようになりたい技を自分で決めて取り組む。

手だて②「指導の個別化」

取り組んでいる技を用具・器具、資料、動画、友達、教師の助言を活用して、できるようになるための練習を工夫する。



協議会

成果

- ①児童が設定する課題の選択肢が多く、リストアップされていて分かりやすい。
- ②教師の個々へのアプローチが有効的だった。
- ③小グループを組むことで、子供たちの学び合いが活性化されていた。

課題

- ①学習のポイントや方法の全体指導をしっかりとしないといけない。
- ②課題解決を児童で調整できる手だてが必要である。
- ③児童が「できた」と思える基準を全体で共通理解する必要がある。



今後の取組

- ①児童の課題を複数個リストアップし、可視化する。
- ②個々への言葉がけを適宜行う。
- ③出来栄の基準を提示する。



今後も、より良い教育環境を提供するため、私たち教師一同は授業改善を継続的に行ってまいります。児童一人一人の個性や学びのペースに合わせた指導方法を探求し、学びの質を向上させることを目指しております。